

別添資料

工事名 : 平成 29 年度第二伊弉高架橋塗替塗装工事  
受注者 : 佐野塗装（株）大阪支店

- 工事箇所 : 兵庫県南あわじ市阿那賀字伊弉
- 工期 : 平成 29 年 7 月 19 日～平成 30 年 4 月 13 日
- 契約金額 : 50,960,880 円(税込)
- 工事概要 : 本工事は、第二伊弉高架橋（1A-2P 間）の全面塗替塗装を行うものである。
  - 下地処理工 約 2,500 m<sup>2</sup>
  - 塗替塗装工 約 2,500 m<sup>2</sup>
  - 支承溶射工 6 基
- 表彰理由 : 当該工事は、当社が施工した工事の中で品質管理、安全管理等工事全般に優良であり、高い評価を得られましたので表彰するものです。
  - 側面板張防護足場の一部に採光パネルを採用することにより、足場内視環境を改善した。
  - 消火器設置箇所に点滅灯を設置するとともに、消火器設置方法を工夫して、足場下面に確実に固定した。
  - 垂直補剛材と下フランジ間、コンクリート台座と支承(下沓)間にシーリングを行うことにより発錆を予防した。
  - 現場事務所から工事現場までの歩行ルートについて、供用車線近傍から未供用地に変更し、足場板設置等による作業員安全通路約 120m の整備、6 か所ののり面等昇降設備の整備の他、第一伊弉高架橋の管理用通路(約 140m) 開口部への転落防止用ロープの設置を行い、作業員の安全性向上に努めた。



施工位置図：平成29年度第二伊弉高架橋塗替塗装工事



写真-1. 2 側面板張防護工への採光パネルの採用



写真-3 消火器設置箇所点滅灯



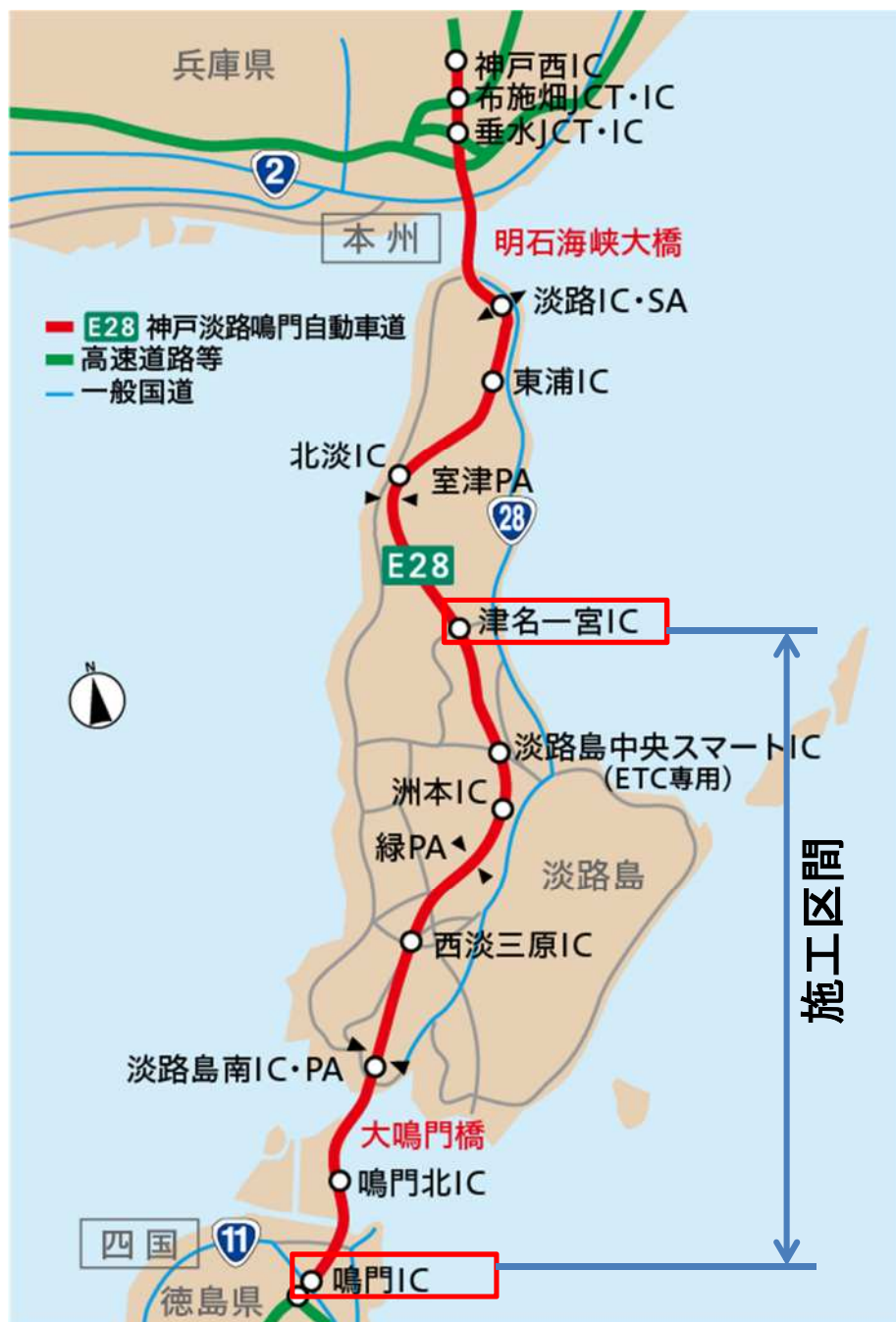
写真-4 シーリング施工による発錆予防



写真-5. 6 作業員歩行時の安全性向上

工 事 名 : 平成 29 年度鳴門管内受配電・自家発電設備更新工事  
受 注 者 : 三笠電機株式会社

- 工事箇所 : 兵庫県淡路市中田～徳島県鳴門市木津町
- 工 期 : 平成 29 年 10 月 11 日～平成 31 年 3 月 8 日
- 契約金額 : 383,284,440 円(税込)
- 工事概要 : 本工事は、鳴門管内（津名一宮 IC、西淡三原 IC、淡路島南 IC、大鳴門橋 1A、第二鳴門 TN、撫養 TN、鳴門 IC）における受配電及び自家発電設備の更新工事である。  
更新用受配電設備及び自家発電設備の製作  
受配電設備設置・撤去 4 インターチェンジ、1 橋梁、2 トンネル  
自家発電設備設置・撤去 4 インターチェンジ、1 橋梁  
更新工事に係る仮設受配電設備の設置及び切替
- 表彰理由 : 当該工事は、当社が施工した工事の中で品質管理、安全管理等工事全般に優良であり、高い評価を得られましたので表彰するものです。
  - 負荷設備の電源切替時の作業時間を短縮するため、綿密な工事計画を作成し、また、事前に仮設端子を接続した。
  - 負荷設備と該当する電線の照合が確実かつスムーズにできるよう、電線に見やすく明記した。
  - 更新設備を最適な配置とすべく、受注者から配置及び追加工事の提案を行い実施した。
  - 仮設設備は、強風地域であることを勘案し、転倒防止のために重力基礎及びワイヤーロープを使用した。また、関係者以外の立ち入りを防止するために、仮囲いを行い安全管理に努めた。
  - 仮設設備運用中の「送電中」の表示を行い注意喚起をするとともに、自動起動・遠隔監視装置を設置し、維持点検に努めたことで、電力供給停止や感電事故などを発生させなかった。



施工位置図：平成 29 年度鳴門管内受配電・自家発電設備更新工事



写真-1 事前端子取り付け



写真-2 ケーブルへの負荷名称記載

重力式基礎設置及びワイヤーによるかさ上げ浸水・転倒飛散対策等



写真-3 最適レイアウトの検討



写真-4 浸水、転倒対策等



写真-5 仮設設備への明示



写真-6 自動起動装置等仮設